

令和3年度施政方針 用語解説

	用語	解説	ページ番号
1	スマートシティ	都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区	2
2	SDGs	平成27年(2015)年9月の国連サミットにおいて全会一致で採決された、令和12(2030)年を期限とする国際社会全体の開発目標で、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むこととされており、17のゴール(目標)と169のターゲットが設定されている。Sustainable Development GOALSの略	2
3	ICT	情報通信技術の総称。従来のITを発展させた考え方で、情報通信やネットワークに関連するコンピューター技術の活用に着目する場合に用いる。Information and Communication Technologyの略	3
4	GIGAスクール構想	児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想。Global and Innovation Gateway for Allの略。	3
5	ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、被害の範囲及び被害程度、避難場所などの情報を地図上に表したもの	5
6	準用河川	一級河川及び二級河川以外の河川で市町村が指定し、管理を行う河川	5
7	法定外公共物	道路法等の適用または準用を受けていない公共物のうち、公図上赤線で表示されているもの	5
8	しゅうなん通報アプリ	市が管理する公共施設の異状箇所等の早期発見・早期対応を図るため、スマートフォンを活用して、市に通報するためのアプリケーション。令和2年から野犬通報機能が追加された	6
9	成年後見制度	認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度	7
10	シティプロモーション	地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を創出し、地域内外に効果的に訴求し、それにより、人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能としていく活動	7
11	地域資源	本市に存在する人や物などの総称であり、産業・観光においては、コンビナートや天然の良港、交通インフラなどで活用可能なものの総称。温泉や国立公園などの自然資源及び歴史的文化的なもの、食などの人為的なものも含む	7
12	日常をときほぐす観光	スローツーリズムやグリーンツーリズムなどを発展させ、地域資源の活用による経済循環につなげる観光。本市の自然や歴史、伝統文化、食、人々が持つ知恵や技などを資源として捉え、掘り起し、磨き上げ、来訪者の「懐かしむ」「癒される」「自己を見つめる」舞台として、「癒しや和み」の時間と空間を提供する観光	7

	用語	解説	ページ番号
13	関係人口	市出身者や在勤歴や在学歴をもった人など、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと	7
14	シビックプライド	「この都市をより良い場所にするために自分自身が関わっている」というある種の当事者意識を伴う自負心のこと	8
15	スポーツコンベンション	スポーツに関する各種大会、企業・学会等の会議や研修会など	9
16	地域の夢プラン	地域住民の自主的・主体的な話し合いを通じて、地域の困りごとの解決や魅力の拡大など地域活性化に向けた具体的な取り組みを定めた計画	9
17	コンパクト・プラス・ネットワーク	行政や医療・福祉、商業等を都市の中心拠点や生活拠点に集約するとともに、その周辺や公共交通の沿線に居住を誘導し、拠点間のアクセスを公共交通等で確保することで、人口減少下においても一定のエリアで人口密度を維持し、各種サービスの効率性を高め、いつまでも暮らしやすいまちづくりを進める取り組み	9
18	コミュニティ交通	民間交通事業者が主体的に運営する公共交通サービス(路線バス等)とは異なり、行政や地域の主体的な運営により提供される公共交通サービス	10
19	国際バルク戦略港湾	石炭等のバルク貨物を扱う港湾の国際競争力の強化を目指し、世界最大級の大型船舶が入港でき、戦略的に整備する港として国が選定するもの ※バルク・・・石炭などのように包装せずに積み込まれる貨物	11
20	カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成すること	11
21	バイオマス	再生可能な生物由来の有機性資源で、石油などの化石資源を除いたもの	11
22	6次産業化	1次産業(農林漁業)、2次産業(製造業)、3次産業(流通・小売業等)の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み	12
23	RPA	コンピューターの操作をソフトウェア(ロボット)により自動化することで、定型的な事務の効率化を図る技術。Robotic Process Automationの略	13
24	AI-OCR	OCR(光学文字認識機能)技術とAI(人工知能)技術を掛け合わせることで、帳票の読み取り精度の向上等を可能としたもの	13